

つばい、又平和に靜かに、或は日本的な勇しい武者繪其色、其筆に至る迄充分心すべき事です。

第三に保育の内容として年中行事を重んじる事(四大節を始め月々の興亞奉公日に至る迄)幼稚園の年中行事の中には子供のみの行事も國家的行事が含まれてあり小國民として幼き日から敬すべき事守るべき事は理論を離れて其身に、幼き魂に織り込まれて、浸み透てしまふべきです。

第四に幼児の生活として誘導指導する時に從來の保育五項目は渾然と組み合せて取扱はれると思ひますが其の中の談話、唱歌、及觀察は最も情操教育に資する事の多い方面と思はれます。(具體的に實例を述べる時間がないので略します)

最後にあまり當然の事ながら忘れてはをらない事は七歳の子が必ず七歳にお官詣りをする様に、幼児の全生活を保育對象としてゐる幼稚園では七歳の子に七歳の日の樂しさを六歳の子に六歳の日の樂しさをそして五歳の子の朝夕を五歳の子らしく存分に樂しませる事、やがて國民學校に入學して八歳の朝に八歳の日の鍊成を、すなほに受け得る様にする事です、「如何なる心構へで如何に保育したら」を申しながら後半の實際的な事を記す時間のなくなりました事をお詫び申上げます。

談話

東京・麴町幼稚園

柴田みどり

新體制、新體制下の政治、新體制下の經濟、文化等々、盛んに論じられてゐる今日に於て新體制下の保育、談話に就て検討すべき役割を命ぜられました私、及ばづながら偉い人なみに、さて新體制とは、議論するには改めて、新體制を勉強し、新體制の何たるかを見究めねばなりませんでした。しかしさてよく考へてみますと、これも六ヶ敷くて自分とは凡そ縁の遠い様に思はれた新體制も、もう其の一步はふみ出されてゐるのであります。そうして私達自身既に新體制の中に生きてゐるのであります。まことに日本國民がこれを意識してゐないも、欲するも欲しないも、すべてがこの中に生きてゐる事に氣が付くのであります。男も女も、主人も妻も老人も赤坊も女中も小僧も、新體制の内に生活しはじめてゐるのであります手近いことに、幼い三つ子も回覽板のお使ひに組まぢよこく出かけますし、おかみさんも常會で一言位は辨する様を見る事はあたりまへになつて來て居ります、そこで幼稚園だけ新體制を背中合せて居られませうか。ここに談話、お話し合ひでは絶えず日々に新體制の種々相が現實に表れて來てゐると思

ひます。この際、私達が今までの舊體制意識で幼児の話し合ひをするのであつたなら、それこそお國に對して、子供に對して申譯なき又勿體なき次第であると思ひます、談話こそ幼児の魂に直交ふれ合ふものでありますから、新體制の精神を保姆自身感得し、意識してなければならぬと思ひます。そこで幼稚園の今まで談話の目的とした處を其の効果を一度繰返してみます、まづ取扱ふお話の種類としては、滑稽なもの、寓話、お伽噺、神話、傳説、歴史の話、自然界の話、事實話、等々ありますが、總じて其の効果は(一)情緒的又は精神的生命を喚起し、子供をして、より善き事物を渴望せしめること。(二)好ましくならぬ習性を矯正すること。(三)想像力を發達せしめること。(四)言語と思想の表現を良好ならしめること。(五)人生に關して真正の知識を與ふること。(六)人類と世界とに對する博大な同情心を啓發すること。(七)社會奉仕の念を創造すること等でありました、でこれ等のお話の種類も又其のお話の内容のものたらす効果も新體制下であるから云つてけつして變る事なく其の儘であります。やつぱり情緒、想像、眞理、藝術美、道徳を目的とするのでありますが、さて其の目指す情緒、想像、眞理、藝術美、道徳、それ自身が新體制の光をおびて變つてしまつた事を認識しなければなりません。でありますから、國家的材料例へば神話、軍國美談、孝士、

忠勇烈士の話を多く取扱へば、新體制の云ふ「國家、國民の總てを集結し、一億同胞をして生きた一體として廣く大政翼贊の臣道を完ふせしめる」その目的に達した云ふのは早計であります、新體制は今生れつゝあるのであります。新體制の文化、新體制の政治、新體制の國防教育が生れつゝあるのであります。お話の目指す道徳も、藝術も情緒すらも新しいものが生れやうとしてゐるのでありますから、私達はよく見究めねばなりません、それ等の目指す庭を識り、そして舊い衣の自由主義、個人主義的思想からぬけ出し新しい衣、正しい新しい、衣をつけて、子供の前に出るならば誤る事がないであります、「新體制は大政翼贊だから來い、凡て滅私奉公内容を持つてゐるなら良い」云々かみせぬ様心掛け度いと思ひます。もう一つは國民學校案の内容に就いて新聞にみましたが今度の一年生のヨイコードモ、前の(修身)は、舊來の「べからず」主義を排してすべて子供自身を中心として生きた生活の中に實踐的な材料を多く取扱つた御座いました、この氣持こそ大切で、これからは實踐力行の機でありますから、談話の力によつて精神を豊富にするばかりでなく、「さあしよう」「さこまでもやろう」云云ふ意力を奮ひ立たせねばならぬと思ひます。勇猛心を喚起したいと考へます。新體制下の談話に以上の二つだけをまづのべてみました。眞に重大な事局に保育の任

に當ります者、心して、新體制の何たるやを二度、三度、四度、思ひめぐらし眞の精神を體して子供の前に語り度きもので御座います。

觀察について

東京・小川幼稚園 隈井玉子

新體制下の幼稚園云ふことについては、大變に澤山のことを考へなければならぬのではないかと思ひますが、さて何を考へたらいいのか、私共としてはあまりに問題が廣くて考へなければならぬことを考へることに終つてしまふ様に思はれます。

來る十六年度に於て、小學校は國民學校と改稱され、その内容全般に亘つて根本的に刷新せられ様として居る秋、幼稚園に於ても新體制に則り國民學校案にもごつき大いにその内容を改善しなければならぬの考へのものに、觀察に於て多少今まで異なる取扱をして居りますことを書いて皆様の御批評を戴き度いと思ひます、以下述べますことは、先般小川小學校と日本理科聯盟の主催で理數科理科(幼稚園觀察)研究會を開いた際、當園で特別の取扱をなす様になつた動機と経過を發表したその要項と、實際取扱の一部で

あります。

一、發表要項

今まで觀察と云ふ保育項目がありながらさう云ふ風に取扱つたらいいか云ふ點に多分の疑問をもち、又實際に取扱つて見ても觀察らしいものが生れてこず、長い間まことに相すまぬことは思ひながらも、うやむやに過して來ました。

たま／＼秋山先生が數年前から低學年に直觀科を特設され一二年生に指導してゐられるのをみて、幼稚園の觀察もあの様にしたなら或はうまく行くのではないかと考へ、おぼろげながらも幼稚園の觀察の行くべき道はこうしたら開けるのではなからうか、と感じ御指導うけつゝ少しづつやつてみました。

しかし一組五六十名では騒々しくて、その目的は達せられませんでした、何にかいゝ方法はないかと考へた末一組を半分に分けて扱ひましたところ、騒がしさがなくなりこの分ならば云ふところまでこぎつきました。

しかしその取扱は或はこゝ新しく觀察だ等とこり立て、云ふほごのものでなく、たゞの風車まわし、落葉ひろひに過ぎないのではないかと、疑問をお持ちの方もあることと思ひます。一二年の取扱も四十分の授業のみをこらんなつたのでは同じ様な感がして理數科理科或は觀察とは